

科目名	自然地理学		担当教員	柏木 良明	
単位	2単位	講義区分		ナンバリング	ED4SGG303
期待される学修成果	教科教育 学校と社会				
アクティブ・ラーニングの要素	該当なし				
実務経験					
実務経験を生かした授業内容					
到達目標及びテーマ	日本や世界の自然環境、特に気候分布について熱収支の観点から考察することを主たるテーマとする。世界や日本の気候分布とそれに関わる地形、植生等の分布及びその成因について把握し、地球環境について地理学の立場から理解を深めることを目標とする。				
授業の概要	世界各地でみられる人々の生活に深く関わる自然環境について、その特徴と成因を気候分布から考察を進める。				

授業計画	
第1回	自然地理学の扱う分野 目標：自然地理学とは何かを知る。
第2回	自然地理学の発展
第3回	大スケールの気候（モンスーン） 目標：現象のスケールについて認識する。
第4回	中・小スケールの気候
第5回	熱収支の考え方 目標：エネルギー収支の考え方を理解する。
第6回	アルベドと気候
第7回	放射と気候環境（アルベドと熱収支）
第8回	放射と気候環境（短波放射と気候）
第9回	放射と気候環境（長波放射と気候）
第10回	世界の気候区分（ケッペンの気候区分と熱帯） 目標：世界各地の気候分布を理解する。
第11回	世界の気候区分（温帯，冷帯，寒帯）
第12回	世界の気候区分（アリソフの気候区分）
第13回	世界の地形分布と植生分布 目標：気候分布と他の自然環境との関わりについて理解する。
第14回	確認試験とまとめ
第15回	確認試験とまとめおよび解説

事前学修	2時間	地誌学Ⅰで学んだ、世界各地域の、気候、地形、植生、土壌について講義ノート等で確認しながら復習をすること
事後学修	2時間	再度講義内容の理解に努めるとともに、地理的現象に対する自然科学的な見方を養うこと。自身で地球科学関連の書物を読むと良い。
フィードバックの方法	確認試験を2回実施し、その内容について、個別に解説する。	

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
レポート	20%	世界の気候について等
上記以外の試験・平常点評価	80%	授業内容の理解到達度確認等
定期試験	0%	
補足事項		

教科書
-----

書名	著者	出版社	ISBN	備考
特になし	なし	なし	なし	なし
参考資料				